

NP0ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会

ピアっ子通信 in ひょうご

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学高田昌代研究室内

Tel&Fax 078 (794) 8077 E-mail peer_hyogo@yahoo.co.jp http://www.geocities.co.jp/peer_hyogo/

2016年度思春期ピアカウンセラー養成講座開催

思春期ピアカウンセリングとピアエデュケーションはともに、思春期ヘルスプロモーションの方策であり、若者が自分自身で人生のゴールを見つけ、それを生き生きと実現しようとしていく力を育てる健康教育手法である。

その能力とは、自分やパートナーの人生設計を壊さないように、性=生に関する意識や行動を自分で決められる能力のことをいい、性=生の自己決定能力と呼ぶ。



第13回目となる思春期ピアカウンセラー養成講座を6月～7月に開催しました。6月25日・26日・7月2日・3日の4日間に30時間の研修を神戸市看護大学で開催しました。

今年度は、神戸市看護大学、関西看護医療大学、京都橘大学、兵庫県立大学から30人の参加者がありました。大勢の若者たちが集

まり、活気あふれる講座となりました。

先輩ピアも交えて考え、自分の意見を発表し、他の人の意見を聞き、また、考える中で、新しい知識を身につけたり、考え方に気づいたりすることになりました。

今後、仲間とともに、第13期ピアっ子たちが活躍することを期待します。

目次：

思春期保健関係者研修会 2

第1回ジャパン・ユース・フォーラム 2

ピアっ子からのメッセージ 2

2015年度活動実績 3

思春期ピアカウンセリングの取り組み 4

メッセージ 4

新ピアっ子の感想・抱負

受講後のアンケートに記された新ピアっ子の数多い感想や抱負の中から一部を紹介します。

「グループで何かすることによって、全く知らなかった人達でも仲良くなれたし、自分の知らないことを知るととても良い機会になりました」「人前で自分の考えていることを発表するという機会がなかったので、良い経験になりました。」「自分と相手に同じ部分もあるけど、ほとんど違うので、それを認めつつ、自分を認めてあげることが大切だと学びました」「最初は、すごく緊

張してこわばっていたけど、先輩ピア、大人ピアの人、一緒に参加していたみんなと活動していくうちに、緊張感もあるけど、安心感もある空間にもなっていった。色んな人生の話とか聞くのっていいなと思いました」「とても勉強になりました。講義も明るくて楽しくて、4日間があっという間でした」「1日目はバテバテになってしまったけど、でも時間を減らしたり、内容を変えるべきとは思わない。自分の将来の看護職のために、また生きていく上で、とてもいい経験になった。すごく楽しかったです」



LGBTについて
当事者からまなぶ

思春期保健関係者研修会

8月23日(火)に神戸市中央区の神戸国際会館で、思春期保健関係者研修会を「性的マイノリティ (LGBT) を考える」をテーマに開催しました。

思春期保健にかかわる教員、助産師、保健師など79人の参加がありました。

講師には、NPO法人きららの木総括管理責任者の田崎智咲斗さんをお招きし、「あなたがいるからわたしはうれしい～自分らしく生きる～」と題してご講演をいただきました。LGBTをめぐる最近の動向やこのテーマを考えるときの視点について情報提供いただき、またご自身の体験に基づいて、当事者の置かれた実情や求められる配慮などについてお話

してくださいました。

後半は、参加者がグループワークを行って理解を深めました。

「自分のことを、誰に、いつ、どんな風に、説明するかは、その人が決める（その人の気持ちを尊重する）」ものであること、配慮の方法としてはその人に合わせた個別対応が求められ、また、個別対応が可能なことを当事者が知り得ることも必要であることなど、参加者が今後の活動に活かしていける貴重な視点を得ることができました。

ご講演くださいました田崎智咲斗さんに改めて感謝いたします。ありがとうございました。



若者が直面する問題について、若者宣言をまとめる

第1回 ジャパン・ユース・フォーラム

第1回ジャパン・ユース・フォーラムがJFPA若者委員会 (U-COM) などの主催で、10月15日(土)から16日(日)まで、東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。全国から27人のピアっ子が集まり、若者が直面する問題について検討し、「若者宣言」を政策提言としてまとめました。

ひょうごピアから参加した2人のピアっ子からのメッセージです。

今回のジャパン・ユース・フォーラムでは14県の地域の思春期ピアっ子が集まり、①若者の自殺、②LGBT、③若者の人工妊娠中絶、④児童虐待の問題、の4つのテーマに目を向け、若者、そしてピアっ子として何ができるかを考え若者宣言を作成・提言をしました。

この2日間ではピアカフェや休憩時間、夜寝るまでの時間で各県のぴあっ子たちの普段の活動状況や悩み、工夫していることなどについて語り合ったりしました。

昨年の全国ピアで知り合ったぴあっ子達と再会できたり、初めてのピアっ子に会えたり嬉しい幸せな出会いがたくさんありました。どのぴあっ子と話をしても、活動への熱く想いを持っていることは共通していて、だからこそ初めて出会った人ともすぐに打ち解けて安心して話ができる、これぞ「ピア」の力だな、と感じました。

今回、全国の皆からもらった刺激、一緒に考え感じた事を兵庫ピアの皆とも共有して、今後の活動に生かしていきたいと思います。

神戸市看護大学 加森夕香子 (ピアネーム ゆかこ) 森定佳那子 (ピアネーム もりかな)

ピアっ子からのメッセージ

思春期ピアカウンセリングの感想をピアっ子が寄せてくれました。

僕はピアの活動をやってみて、まずLGBTの事など色々なことを知ろうとしたり考えたりすることが増えて自分の中で考え方の視野が広がったように感じました。

また、自分は上手く話したりハキハキ話すのが苦手で、それが原因で落ち込むこともありました。ピアの活動を通して、別に自分はそのままでもいいんだと思えて安心できたのと同時に、でももっと上手く話せ

るように頑張りたいなという気持ちも強くなって、自分の中で考え方がいかに変わったと感じました。

なので僕はピアをやってみて、純粋にやってよかったと思いました。これからの活動も楽しみに頑張っていきたいです。

京都橘大学 田村一稀 (ピアネーム たむさん)

セミナーでは、劇や話し合い、コ・カウンセリング等を通し、カウンセリングの理論とスキルについて、その大切さを実感しながら理解することが出来ました。また普段はあまり理解を深める機会がない、セク

シュアリティについても学んだり、話し合ったりすることで、自分の人生設計を考えることが出来ました。

そして何より、色々な感情について考えたり、自分と相手の価値観を考えたりすることで、自分も相手もかけがえのない、大切な存在なんだということを実感できました。これからも日々の中でこの気づきを大切にしたいと思っています。今回の学びを生かし、これからも様々なピア活動に参加し、中高生と共に考え、学んでいきたいです。

兵庫県立大学 浦野智尋 (ピアネーム ちひろ)

ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会 2015年度活動実績

ピアカウンセラーの養成および関係者研修会の開催

第12回思春期ピアカウンセラー養成講座を神戸市看護大学で開催しました。ベーシック講座は、2015年6月27日・28日・7月4日・5日に行い、17人が修了しました。そして、実践経験を踏まえ、2016年2月13日・14日にフォローアップ講座を行いました。

思春期ピアカウンセリング関係者研修会は、2015年11月18日に神戸市中

央区の三宮研修センターで開催し、関係者およびピアっ子70人の参加がありました。

講師に日本家族計画協会理事長の北村邦夫先生をお招きし、～草食と呼ばれる若者たち?! 深刻化する少子化問題を現役産婦人科医が徹底追求～をテーマに、思春期保健フォーラムも同日に開催しました。



思春期保健関係者
研修会・思春期
保健フォーラム

ピアカウンセリング・エデュケーションの実践支援

ピアっ子たちの実践活動は、少人数グループを対象としたピアカウンセリング、多数を対象としたピアエデュケーションおよび啓発を目的としたデモンストレーションに分かれます。

2015年度は、ピアカウンセリングを76回、ピアエデュケーション5回、デモンストレーション10回、合計91回の活動を行いました。実施場所は、大学3校、高校等7校、中学校5校、その他5か所でした。延べ参加者は2,922人になり、ピアっ子の延べ参加数は302人にのびります。

第6回思春期ピアカウンセリング全国大会が福島県で開かれ、ピアっ子8人が参加【ピアカウンセリング実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
ピアサポートルーム名古屋	希望者 延211人, 12回	延25人
ピアサポートルーム In スクール	希望者 延69人, 12回	延59人
垂水区学習意欲支援	希望者 延47人, 12回	延31人
関西看護医療大学	希望者 45人, 1回	2人
神戸市立須磨翔風高校	1年生 延640人, 16回	延32人
篠山産業高校丹南校	3年生 30人, 1回	5人
三田祥雲館高校	希望者 延60人, 2回	延6人
氷上特別支援学校	高等部 8人, 1回	4人
神出学園	延45人, 3回	延13人
播磨町立播磨中学校	2年生 200人, 6回	延12人
神戸市立丸山中学校	希望者 33人 1回	5人
神戸市立有野北中学校	3年生 180人, 6回	延12人

【ピアエデュケーション実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
三田西陵高校	2・3年生 480人, 2回	延14人
大谷高校(京都市)	全校生 460人, 1回	3人
丹波市立氷上中学校	2年生, 150人, 1回	2人
篠山市立今田中学校	2年生, 142人, 1回	2人

加し、全国のピアっ子と交流しました。

また、京都市の大谷高校でピアエデュケーションを実施しました。振り返ると、同校を会場として京都府私立中高等学校性教育研究会の先生方にデモンストレーションを行ったのが2012年でした。今回、京都市でピア活動を実現できたことは、関係者のご尽力のおかげと感謝しています。今後も、ピア活動が皆様のご協力の下、広がっていくことを願っています。



思春期ピアカウンセラー
養成講座

会計報告

2015年度会計報告

	(単位: 円)
収 入	1,902,156
支 出	1,673,193
当期収支差額	228,963
前期繰越金	19,783
次期繰越金	248,746

思春期ピアカウンセリングの取り組み

思春期ピアカウンセリング活動を実践していくにあたり、思春期ピアカウンセラーの養成はもちろん必要ですが、もう1つ欠かせないことは思春期保健関係者の協力です。改めて、この場を借りて感謝申し上げます。

多くの関係者にご協力いただきながら活動していますが、今回、学校と地域保健の協力者からメッセージをいただきましたのでご紹介します。

本校では、平成28年度に2年生を対象とする思春期ピアカウンセリングを初めて実施しました。教師のいない教室で、大学生のピアっ子に生徒を預けることに多少の不安もあり、しばらく廊下で待機していたのですが、すぐに打ち解けた雰囲気、笑い声が聞こえ、安心しました。授業後は会議室を開放して希望者向けの「ピアルーム」を開設したところ、5名の女子生徒が来室し、恋愛や進路について楽しく相談にのってもらったそうです。翌日は「先生！昨日の授業またやってよ！」「もうピアっ子のみんなは来ないの？」と保健室まで言いに来る生徒もいました。

授業後の感想には「人と人では違うことが当たり前で、お互いに認め合うことが大切なんだと思った。」「将来について考えて、進路について見直そうと思った。」「フレンドリーな空気で話ができて、抱えていた悩みが軽くなった。」「などがあり、ピアカウンセリングでなければ経験できない学びの体験になったことがわかりました。

2年生の3学期という時期も、授業の内容と生徒の発達段階が合っていたようです。今後も、自尊感情を高め、生き方について自己決定できる人へと成長していくことを願って継続的に取り組みを進めていきたいと考えています。

神戸市立本多聞中学校 養護教諭 福間 莉瑛

宝塚健康福祉事務所管内(宝塚市・三田市)における思春期ピアカウンセリング事業の取り組みをご紹介します。

当所では、平成23年度に若年出産の割合が増えたことから、管内の思春期保健の現状調査を行い、問題が非常に複雑化していることがわかりました。そこで、従来の健康教育の手法では解決が困難と考え、思春期ピアカウンセリング事業を活用した思春期保健対策に取り組むこととしました。

事業実施にあたり、各市教育局委員会や養護教諭部会の方々へ、現状の聞き取りや事業説明を行うとともに、学校保健と地域保健関係者が集まる思春期ネットワーク会議を開催し、課題の共有や実施校による実践報告等を行いました。その結果、平成25年度に三田市内の高校1校からスタートして、平成28年度には管内の高校3校に加え、実施校の増加とともに、複数の学校が実施に興味を示してくださっています。思春期の問題の低年齢化もあり、中学校や小学校への展開についても検討できればと考えています。

私自身、今年度のピアカウンセラー養成講座や管内での思春期ピアカウンセリング事業の実施日にお邪魔してもらい、ピアっ子さん達の若さと熱意に改めて刺激を受けました。自分もいつまでも若いつもりでいましたが(笑)、ピアっ子さん達を前にすると、やはりこの年代でしか思春期の若者達に伝えられないことがあるとひしひしと感じ、とても羨ましく思いました。今後も、若い皆さんにその力を充分に発揮していただけるよう環境を整えていくことが私達の役割であると思っています。

宝塚健康福祉事務所 大石 真那

今後とも、皆さまの思春期ピアカウンセリングに対するご理解と活動に対するご協力をよろしくお願いします。

めっせーじ

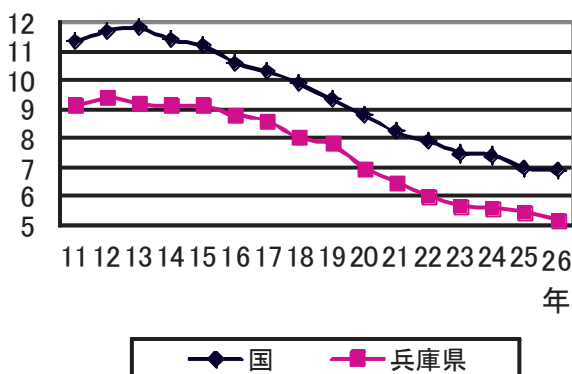
ピアっ子たちの活動を支援くださいます皆様に感謝申し上げます。

ピアカウンセラー養成講座を受講したピアっ子たちが、ピアカウンセリング事業を重ねて、どんどん逞しく成長していく姿に感動しています。これから益々ピアっ子が活躍してくれることを願っています。今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。(K・S)

ピアっ子たちが活動するためには、地域の理解、環境整備、大人世代のバックアップは必須です。教育、医療、地域保健の関係者などたくさんの皆さんとともに力を合わせ、思春期の若者の性と生を支えたいと考えています。どうぞこの研究会にご参加ください。

年会費 個人会員3,000円 団体会員1口10,000円

人工妊娠中絶実施率
(15歳以上50歳未満女子人口千人対)



15～19歳の定点観測による性感染症の件数
(兵庫県及び神戸市)

